

彩の国

21世紀郷土かるた大会



競技必携

目 次

1 競技を始める前に	・・・ 1ページ
2 競技の仕方	
3 競技会場の準備	・・・ 2ページ
4 競技の進行方法	・・・ 3ページ
5 審判員の役割	・・・ 5ページ
「さいたま郷土かるた」質疑応答集	・・・ 7ページ
記録方法	・・・ 10ページ
読み手の注意事項	・・・ 11ページ
参加についての注意事項	

1 競技を始める前に

この「かるた」は、県下の小・中学生の皆さんの協力によって作られたものです。かるたには、私たちが楽しく遊びながら、郷土埼玉の歴史や人物、重要な産物、雄大な山や川などをよく知り、郷土を愛し、郷土埼玉のために力を出し合える県民になってほしい、という願いがこめられています。勝敗にこだわらず、郷土が育てた人物や美しい自然、文化や産業を心にえがきながら、ルールを守って礼儀正しく、仲良く遊びましょう。

2 競技の仕方

(1) 競技の種類

この「かるた大会」は、次のような種目で競技が行われる。

ア 団体競技… 4人1組で編成して対戦する。

◎ 競技は、3人1組で対戦する（1人は交代要員とする）。

㊦ 県大会については、男女混合となる。

◎ 交代は、原則として試合中はできない。ただし、試合途中において出場選手が健康上試合続行不可能と担当審判員が判断したときは、交代してもよい。

イ 個人競技… 1人対1人で対戦する（男女は問わない）。

◎ 個人競技の場合は、交代要員が認められていないので、試合途中で試合続行不可能と担当審判員が判断したときは、相手チームに勝を与える。この場合、記録としては相手チームの棄権として処理する。

(2) 競技に必要な係

◎ 進行係

進行係は、その大会の運営をよく把握して、進行を敏速にするよう努める。人員の配置は、主になる者1人と副として最低4人は必要とする。

◎ 読み手

読み手は、競技上、最も重要な役割であり、出場選手が取り札を取るとき、はっきりとした声で読みあげてやらないと、トラブルを招く恐れがある。

◎審判員

審判員は、各対戦試合に1人は配置し、担当競技の判定を責任をもって処理し、結果を記録表に記入し、記録係に提出する。

また、競技上の問題点、その他進行を妨げるようなことが発生したときは、旗を上げ「タイム」と言って進行係に告げる。

なお、審判員は試合を公平に判定し、判断をくださるように努める。

◎記録係

記録係は、試合の結果を敏速に把握し、正しく記録、競技の進行を円滑にして、選手に不信感を持たせないようにする。

※ 以上の係のほかに、大会運営上の係分担は、別に大会の状況により、定めるとよいので省略する。

3 競技会場の準備

競技会場は、出来るだけゆとりを持って設定する。

◎団体競技の場合（図1）

3人が向かい合って一列に並ぶ。この陣の幅は1.5メートル以内で、3人が適当な間をおき、ひざを20cm程度ひらいて座る。

前傾姿勢は45度以上傾けてはいけない。

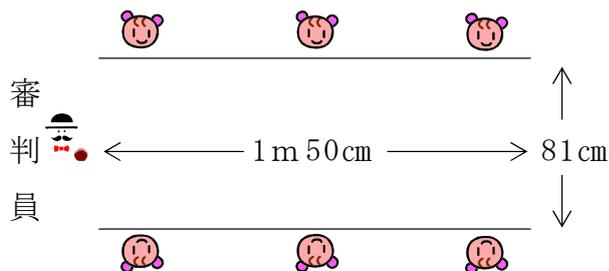
相手チームとの間は、ひざ頭から81cmの幅をとる。

◎個人競技の場合（図2）

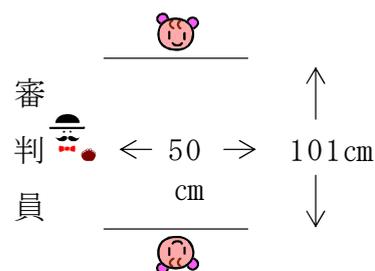
1人で向かい合って、陣の幅は50cm以内とする。

相手チームとの間は、ひざ頭から101cmの幅をとる。

（図1…団体競技）



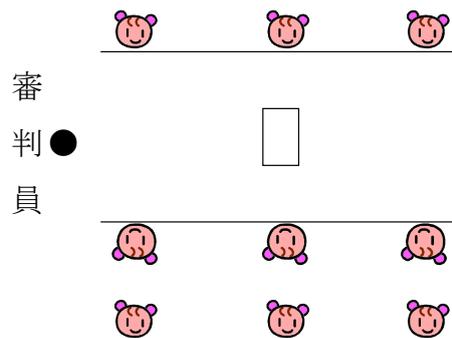
（図2…個人競技）



4 競技の進行方法

(1) 試合をはじめる前に

対戦チームを所定の位置に座らせ、
お互いに礼をさせるようにする。



(2) 取り札の並べ方

ア 進行係の合図で、担当審判員は
取り札を対戦者の真中に置く。

イ 団体戦は真ん中の人、個人戦の
ときはお互いに「ジャンケン」を
させる。

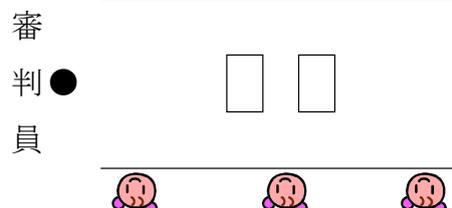
ウ 勝った人が真中の取り札をよく
切り、切り終わったら真中に23
枚ずつ分けて、少し離しておく。

エ 負けた人は、真中においてある
取り札を、右でも左でも好きな方
を取り、残った方の札を勝った方
が後から取る。

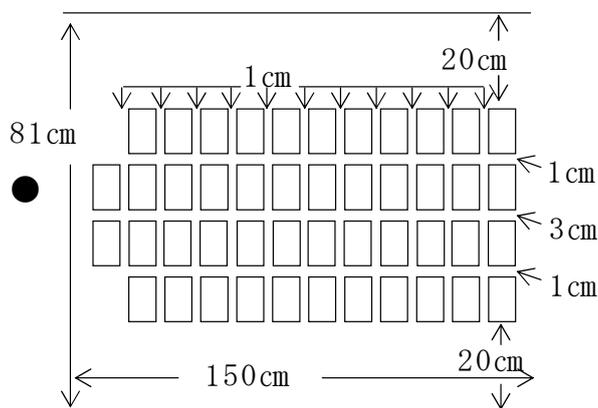
オ 進行係の合図で、真中の人
が自分の陣内の審判側上段よりすみ
やかに並べる。他の2人は、記憶を
する態勢に入る。

(団体は2段、個人は3段)

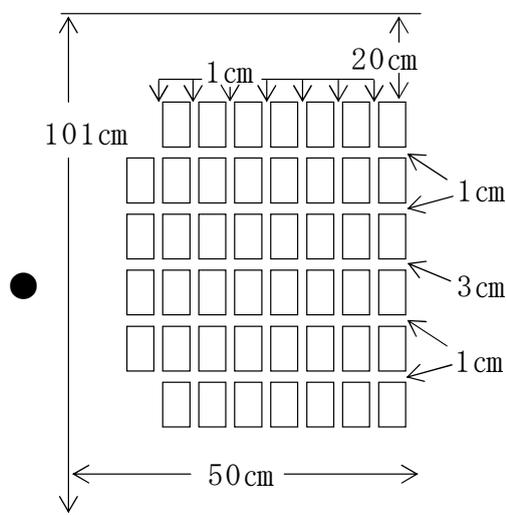
札と札の間隔は、左右・上下と
も1cm程度離す。相手チームとの
間隔は3cm程度離す。



(団体競技)



(個人競技)



(3) 試合の方法

ア 主進行係の合図で「取り札」を並べ、引き続き記憶させる。

(並べはじめから、おおむね5分間とする。)

イ 読み札は必ず2回読むこと。

ウ 読み手は、始めに「から札」として㊦札(まが玉は、過去と未来の首飾り)を2回読む。これが予告となり、次に読まれる札から取りはじめる。

試合が途中で停止し、再開する時、読み手は「続けます」とことわってから次の札を読む。

エ 取り札が最後の2枚になったら、どちらの札が残っても、真中に横30cm位離して並べる。ただし、団体戦の場合は、3人のうち真中の1人が残って、2枚の札を争う(代表者以外がとった場合は、2枚とも相手チームのものになる)。

このとき、読み手は、試合開始のときと同じように「から札」を2回読み、それが予告となり、次に読まれる札が取り札となる。

オ 最後の1枚を取った方が、残りの札を取ることができる。

カ 札を取るときは、押さえても、はじいても、押しても、引いてもよいが、故意にとばしてはいけない。読まれた札以外の札に手が触れたときは、「おてつき」となる。ただし、試合開始と最後の2枚になったときに読まれる「から札」は、「おてつき」とはしない。

キ 取り札に早く手が触れた方が勝ちとなる。

(4) 採点のとり方

ア 取り札は、1枚を1点として数える。ただし、団体戦の場合には、次のような「やく札」がある。

◎ シンボル札

㊦ … サクラソウ かれんに優しく 県の花 (県の花)

㊧ … 清流に 生き長らえよ ムサシトミヨ (県の魚)

㊨ … シンボルは さいたまアリーナ 新都心

◎ 3人札

- ㊦ … いざ出陣 太平めざして 直実公 (熊谷直実)
㊧ … 宇宙まで 夢をとどけた 若田光一 (若田光一)
㊨ … 女医一号 未来を開いた 荻野吟子 (荻野吟子)

イ 「やく札」3枚がそろったときには、10点加点する。ただし、3枚そろわない場合には、普通の札と同じで1枚1点として数える。

ウ 団体戦・個人戦とも、同点の場合には「㊦」の札を持っている方のチームが勝ちとなる。

エ 得点の数え方は、試合終了後取った札の枚数を確認し、記録表に記入する。次に「㊦札」や「やく札」があるか確認し、記録表に記入する。この総合得点を計算する。

(例) 団体戦の場合、Aチームが取り札を21枚取ったとする。そのなかに「やく札」のシンボル札3枚がそろっていた場合、そのときの得点は、 $21点 + 10点 = 31点$ となる。

相手のBチームは、 $46枚 - 21枚 = 25枚$ となり、「やく札」がなければ得点は25点だけなので、この試合はAチームの勝ちとなる。

オ 相手チームが棄権のときは23点对23点とし、㊦札勝ちとする。

5 審判員の役割

(1) 審判員の心得

審判員は、常に公平に判断をくださるように心がけること。万一、判定に苦慮したときは、すみやかに旗を上げ、進行係と密に連絡をし、敏速に問題を解決し、試合の進行を考慮すること。

(2) 試合上の注意事項

- ア 県大会における団体戦の場合の出場選手は、常に男女混合のチームでなければならない。
- イ 試合中は、始めに並べた取り札の位置を変えてはならない。
- ウ 試合中に取り札が動いた場合、すみやかにもとの位置にもどす。
- エ 札を取るときは、両手を使ったり、札にかぶさったりしてはいけない。
- オ 札が読まれるまでは、手をひざの上から離してはならない。
- カ 選手のだれかが、読まれた札以外の札に手を触れたら「おてつき」となる。「おてつき」をしたチームは、自分たちが取った札の中から1枚を相手チームに渡す。
- ただし、両方のチームが同時に「おてつき」をしたとき、または、取り札のないときは、渡す必要はない。
- キ 味方チームの2人・3人が同時に「おてつき」をした場合、相手チームに渡す札は1枚だけでよい。
- ク 取り札に両チームの手が重なったときは、重なった手の下の手のもの取ることになる。
- ケ 取り札に両チームの手が同時に触れた場合は、自分の陣内のもの取れる。ただし、団体戦のときに、その札が「やく札」であったときは、その札は審判員があずかる。
- コ 予選ブロックの代表選出は、①勝数、②得点数、③対戦時の勝者の順とし、それでも決着しないときは抽選とする（団体戦は代表1人による）。
- ※ ただし、県大会の団体戦は代表3人による抽選とする。

「彩の国 2 1 世紀郷土かるた」 質疑応答集

質 問	解 答						
1 「お手つき」の処理について							
<p>(1) 「から札」を「お手つき」した場合はどうするのですか。</p> <p>(2) 試合の進行中「お手つき」をした時にまだ1枚も取っていない場合は、相手に渡す札は「借り」となるのですか。</p> <p>(3) 味方チームの2・3人が同時に「お手つき」をした場合、相手チームに渡す札は何枚ですか。</p> <p>(4) 両方のチームが同時に「お手つき」をした場合はどうするのですか。</p>	<p>「から札」は予告を意味するために読まれる札ですから、「お手つき」とはしません。</p> <p>取り札がない場合は、相手に渡す必要はありませんので「借り」となることもありません。ただし、団体戦の場合、3人のうち1人でも取り札を持っている時には、相手チームに1枚渡します。</p> <p>味方チームの2・3人が同時に「お手つき」をした場合でも、相手チームに渡す札は1枚だけです。</p> <p>両方のチームが同時に「お手つき」をした場合、両方がそれぞれ相手チームに1枚渡すこととなるため、やり取りはしません。</p>						
2 「やく札」の処理について							
<p>(1) 「やく札」はどの札ですか。また、どのような時に使われるのですか。</p>	<p>「やく札」とは次の6枚をいいます。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">シンボル札 …</td> <td style="text-align: center;">(さ)・(せ)・(ん)</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">この 6枚</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 人 札 …</td> <td style="text-align: center;">(い)・(う)・(を)</td> </tr> </table> <p>団体戦の時だけ適用します。</p>	シンボル札 …	(さ)・(せ)・(ん)	}	この 6枚	3 人 札 …	(い)・(う)・(を)
シンボル札 …	(さ)・(せ)・(ん)	}	この 6枚				
3 人 札 …	(い)・(う)・(を)						

<p>(2) 「やく札」が読まれた時両方のチームが同時に手を触れた場合はどうするのですか。</p>	<p>「やく札」が読まれた時両方のチームが同時に手を触れた場合は、その札は、審判員が預かります。</p> <p>ただし、手が重なった場合は、札に直接手が触れている方（重なった手の下の方）のチームのものとなります。</p>
<p>3 「同時」の処理について</p>	
<p>(1) 読まれた札に双方の手が同時に触れた場合はどうするのですか。</p>	<p>双方が同時に札に触れた場合、団体戦の「やく札」以外は自分の陣内のものを取ることができます。</p> <p>なお、「㊤札」は「やく札」ではありません。</p>
<p>4 記録の取り方について</p>	
<p>(1) 総当たり戦を行った場合に集計で同勝数・同得点が出た時はどうするのですか。</p> <p>(2) 記録用紙の記入方法はどのようにするのですか。</p>	<p>総当たり戦で同勝数・同得点が出た場合、双方の選手代表1人ずつによる抽選とします。</p> <p>◆ 試合前の確認事項</p> <p>① 種目（団体戦・個人戦）を確認し、該当する方に○印を付けます。</p> <p>② 総当たり戦の場合はブロックの記号を記入します。</p> <p>③ 対戦チーム名（市町村名と複数の出場チームについてはA B C D）をはっきり記入し、対戦番号も記入します。</p> <p>④ 担当審判員は、記録者氏名と所属地区名を記入します。</p> <p>◆ 試合終了後の確認事項</p> <p>① 試合が終わったら、双方が取った札の枚数を確認します。</p>

- ② 団体戦・個人戦とも、同点の場合には取った札の中に「㊦札」があるかを確認し、持っている方の「㊦札」欄に○印を付けます。
- ③ 団体戦の場合、「シンボル札」あるいは「3人札」がそろっていた時は、「やく札」欄に○印を付けます。「やく札」は必ず「シンボル札（㊦・㊧・㊨）」あるいは「3人札（㊩・㊪・㊫）」が3枚ともそろっていません。3枚のうち1枚でも欠けている時は、記録する必要はありません。
- ④ 団体戦の場合は、「審判預りの枚数」欄を確認します。この欄は最高でも「6」（やく札の数）という数字であり、それ以上はあり得ないので、特に注意してください。
- ⑤ 「総合得点」欄は、取った枚数1枚につき1点と計算します。団体戦の場合は、「やく札」3枚で10点を加点します。なお、審判員預りがある場合は、その数はどちらのチームの得点にも加算されないため両方のチームの総得点が46・56・66点にならないこともあります。
- ⑥ 同点の場合は、「から札」の「㊦札」を持っている方が勝者となります。

さいたま郷土かるた大会記録カード

種目	個団 人体 戦戦 □□	コート	対戦チーム名	取 つ た 枚 数	㊤札 の あ る 方	やく札		審判 預か りの 枚 数	総合 得点	勝敗 ○×
						シンボル札 ㊤㊥㊦	3人札 ㊧㊨㊩			
				枚		点	点		点	
				枚		点	点		点	
学年				枚		点	点		点	
高低 □□			記録係 (氏名) (所属地区)							

※ 記録方法

- 1 種 目 … 団体戦か個人戦か記入する。
- 2 学 年 … 高学年か低学年か記入する。
- 3 コ ー ト … 対戦コート番号を記入する。
- 4 対戦チーム … チーム名を記入する。
- 5 ㊤ 札 … 「㊤札」を持っている方に○印を記入する。
- 6 や く 札 … 3枚そろっていたら、10点と記入する。
- 7 審判預り … 審判預りの枚数を記入する。
- 8 総合得点 … 取った枚数・やく札を合わせた得点を記入する。
- 9 勝 敗 … 勝った方に○印・負けた方に×印を記入する
- 10 記 録 係 … 記録係の氏名・所属地区を記入する。

※ 読み手の注意事項

- 1 落ち着いて、はっきり読む（特に各札の出だし部分をしっかり読む）。
- 2 各札を必ず2回ずつ読む。
- 3 初めに「から札」として「㊦札（まが玉は 過去と未来の 首飾り）」を2回読む。これが予告となり次に読まれる札から取り始める。
- 4 取り札が最後の2枚になったら、試合開始の時と同じく「から札」の「㊦札」を2回読んでから次の札を読む。
- 5 最後の1枚は読まない。
- 6 最後の2枚に「㊦・㊧・㊨・㊩・㊪・㊫・㊬」札（「から札」と「やく札」）がこないように、読む前に必ず確認する。

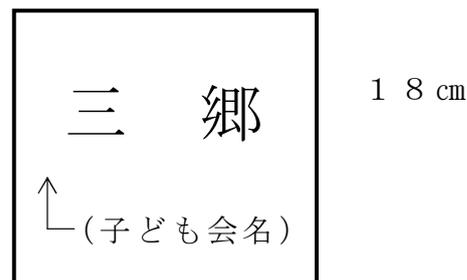
※ 参加についての注意事項

- 1 子どもへの配慮
 - ・ 参加選手の引率は、各参加団体で責任を持ってください。
 - ・ 引率者は、選手の健康状態を把握しておいてください。
 - ・ 服装は、日常のもので構いません。
 - ・ 指の爪は切っておくように指導してください。また、引率者は爪きりを持ってきてください。
 - ・ 寒さへの対応を考えて下さい。 ゼッケン（白地に黒文字）

2 持参するもの

2 2 cm

- ・ 上履き
- ・ 座布団
⑩県・埼葛南支部大会では使用できません。
- ・ ゼッケン（背中に付ける）



3 競技について

- ・ 予選についてはリーグ戦とし、各ブロックの1位2位チームが決勝トーナメントに進めるものとします。ただし、県大会に進める団体は、男女混合チームのみが進めるものとします。